

主 催  
関西英語教育学会 (KELES)

共 催  
大学英語教育学会 (JACET) 関西支部・外国語教育メディア学会 (LET) 関西支部

## 第 26 回卒論・修論研究発表セミナー プログラム

2023 (令和 5 年) 年 2 月 12 日 (日)

会場: オンライン会議ツール Zoom

関西英語教育学会 HP: <http://www.keles.jp/>

○ 会場オープン 11:40

○ 開催方式 オンライン

(事前参加申込は4ページをご覧ください。)

事前参加申込頂いた方に Zoom のアドレスをお知らせします)

○ 参加費 会員・非会員とも無料

○ 開会行事 12:00-12:10 (Zoom 1)

司 会: 平野 亜也子 (京都産業大学)

開会の挨拶: 泉 恵美子 (関西学院大学)

○ 前半の部 12:10-13:05 (プログラムは 2 ページをご覧ください)

○ ランチョン・セミナー 13:10-13:50 (プログラムは 2 ページをご覧ください)

○ 後半の部 14:00-15:00 (プログラムは 3 ページをご覧ください)

スペシャル・トーク 15:10-16:40 (Zoom 1)

**「信じれば救われる?—英語学習における自己効力感、学習方略、  
自己調整の役割について」**

講師: 竹内 理 先生 (関西大学 教授)

講師紹介: 染谷 藤重 (京都教育大学)

○ 閉会行事 16:40-16:50 (Zoom 1)

閉会の挨拶: 横川 博一 (神戸大学)

前半の部 ①12:10 -12:35 ②12:40 -13:05

\*発表タイトル前の B は卒業論文、M は修士論文の発表です。

【Zoom 1】 コメンテーター： 名部井 敏代(関西大学)

司会：齊藤 倫子(関西学院大学非常勤講師)

- ① B: Computer-mediated corrective feedback on L2 acquisition: A meta-analysis 土居 篤司  
(関西大学)
- ② B: 探究型外国語学習の提案  
-生徒の振り返りに焦点を当てて- 中西 宝  
(京都教育大学)

【Zoom 2】 コメンテーター： 前田 哲宏(龍谷大学)

司会：俣野 知里(京都市立二条城北小学校)

- ① B: 小学校現職教員と教員志望の学生の英語指導観  
-英語授業動画の視聴によって感じる不安感の比較- 新田 真唯  
(立命館大学)
- ② B: 英語の授業における教師の教授スタイルと日本人  
中学生が感じる不安の関係性 早房 拓実  
(千葉大学)

【Zoom 3】 コメンテーター： 中西 のりこ(神戸学院大学)

司会：染谷 藤重(京都教育大学)

- ① B: Comparison Between Graphic Novel (Manga) and Traditional Novel in Aspects of Motivation and Vocabulary Acquisition ユハンジョン  
(立命館大学)
- ② B: 日本語を母語とする英語学習者の接頭辞難易度順序  
とインプット量の関係 富岡 学  
(天理大学)

ランチオン・セミナー 13:10 -13:50

【Zoom 1】

『現職教員に聞く「いま」と「これから」』

- 講師： 山村 京子 先生(京都府亀岡市立東輝中学校)  
佐古 孝義 先生(京都教育大学附属高等学校)
- 進行： 俣野 知里(京都市立二条城北小学校)

後半の部 ③14:00 -14:25 ④14:30 -14:55(B) -15:00(M)

\*発表タイトル前の B は卒業論文、M は修士論文の発表です。

【Zoom 1】 コメンテーター： 新谷 奈津子(関西大学)

司会: 齊藤 倫子(関西学院大学非常勤講師)

- ③ B: The Effects of 4/3/2 Activity on Learners' Fluency Development in an EFL Context 白坂 水樹 (立命館大学)
- ④ M: Effects of Task Repetition on L2 Fluency and Speaking Anxiety Among Elementary-level Japanese EFL Learners 北野 功樹 (拓殖大学大学院)

【Zoom 2】 コメンテーター： 大和 知史(神戸大学)

司会: 俣野 知里(京都市立二条城北小学校)

- ③ B: ASR による誤認識の利用 -ASR は日本語母語話者の英語発音をどう反映するのか- 杉本 花音 (神戸学院大学)
- ④ B: ディスコースの変換 -豊かな思考力の育成のために- 芦田 愛依 (京都教育大学)

【Zoom 3】 コメンテーター： 門田 修平(関西学院大学)

司会: 染谷 藤重(京都教育大学)

- ③ B: Comparison of Open Tasks with Closed Tasks on TSLT Syllabus in Japanese EFL Contexts 鈎 優花 (立命館大学)
- ④ B: 機械翻訳前編集が英作文にもたらす影響 幸田 隆伸 (大阪教育大学)

## 事前参加申込のお願い

第 26 回卒論・修論研究発表セミナーはオンラインでの開催となります。ご参加いただくのに必要な Zoom の URL 等は事前参加登録をさせていただいた方にメールでお送りいたします。事前参加登録は関西英語教育学会 HP の第 26 回卒論・修論研究発表セミナーのページ([http://www.keles.jp/news/keles26\\_thesis/](http://www.keles.jp/news/keles26_thesis/))から、2 月 11 日(土) 12:00 までをお願いいたします。

## 発表者の皆さまへ

以下、発表者の皆さまに簡単な注意事項を記します。必ずお読みください。

- 発表時間 卒論 25 分(発表 15 分 コメント・質疑応答 10 分)  
修論 30 分(発表 20 分 コメント・質疑応答 10 分)
- 発表時間 10 分前には、発表が予定されている Zoom のミーティングルームに入って待機してください。発表用の資料は、各自パワーポイント等でご準備ください。発表者を共同ホストとして設定しますので、Zoom での氏名は「氏名(発表者)」としてください。時間になったら画面共有をして発表を開始してください。
- 発表と質疑の時間は厳守してください。当日は司会もいますが、各自タイマーをセットして、発表時間を管理してください。
- 発表前日までには、各自、発表の練習を必ず Zoom 上で行ってください。資料の共有の方法や、ネットワークの状態、マイクの音量等を確認して、ベストな発表状態で当日を迎えるようにしてください。
- 何らかの障害により発表がうまくできなかった場合のために、閉会行事終了後に予備の時間を設けています。

## 参加者の皆さまへ

- 必ず実名(フルネーム)でのご参加をお願いいたします。
- カメラとマイクは、基本的にはオフでのご参加をお願いします。
- 各発表のミーティングルームは、入退出自由ですので、興味のある発表のルームに入室して発表を視聴してください。
- 発表の録画・録音はもちろん、スクリーンショットやそれらに準ずることはご遠慮ください。
- 発表後、質疑応答の時間を設けていますが、適宜チャット機能を用いて質問をしていただければと思います。
- 発表順、コメンテーター等はやむを得ず変更されることがありますのでご了承下さい。最新情報は関西英語教育学会HPに掲載します。  
[http://www.keles.jp/news/keles26\\_thesis/](http://www.keles.jp/news/keles26_thesis/)